

## QT-EDIT コマンド解説 サブルーチンの組み方参考

サブルーチンの組み方参考.txt				
ステップ	A軸	コマンド データ	B軸	コマンド データ
00		原点復帰		原点復帰
01		サブルーチンコール 3.5		サブルーチンコール 3.5
02		無条件分岐 12		無条件分岐 12
03		ステップ移動 2000		ステップ移動 0
04		ウェイトタイム 10		ウェイトタイム 10
05		ステップ移動 0		ステップ移動 2000
06		ウェイトタイム 10		ウェイトタイム 10
07		ステップ移動 -4000		ステップ移動 0
08		ウェイトタイム 10		ウェイトタイム 10
09		ステップ移動 0		ステップ移動 -4000
10		ウェイトタイム 10		ウェイトタイム 10
11		サブルーチンリターン		サブルーチンリターン
12		原点復帰		原点復帰
13		プログラム終了		プログラム終了

ステップ 0 3 から 5 回繰り返す。

繰り返しが終わるとステップ 0 1 に戻ってきて  
0 2 にくるので 0 2 で逃げなくてはならない。

片軸が動かなくても、ステップ移動でゼロを入れて  
おかないと、両軸の同期がとれず、途中でスト  
ップしたりしてしまうので注意。

サブルーチンの終わりにはサブルーチンリターン  
を必ず入れる。

プログラム終了は入れても入れなくても良い。